

古くて新しい鉄へのこだわり

鋼板・帯鋼の専門店

日本磨帯鋼株式会社

2017 年度 環境活動レポート

(2017年 4月～2018年 3月)



ホームページアドレス: <http://www.migakiobikou.co.jp/>

メールアドレス: sugimoto@migakiobikou.co.jp

作成日：2018年5月11日

更新日：2018年11月25日

□ごあいさつ

温暖化等の地球環境の悪化を防止するために一企業としてどう取り組んでいくのか！
明確な環境方針のもと、全社一丸となって無駄な資源やエネルギーの消費を抑え、
ゴミの排出を減らすことに最善を尽くします。またエコアクション21を通して今後も
更なる環境活動を行なっていく予定です。

経営理念

1. お客様第一主義に徹します。

私達はお客様のニーズを的確に捉えた質の高い商品とサービスを提供します。

2. 社会にとって存在価値のある会社になります。

私達は創造的かつ独創的な商品とサービスの提供を通して、物づくり、人づくりに貢献し
ます。

3. 人間性豊かな、温かみのある会社になります。

私達は社員一人一人が自分の能力を最大限発揮し、本当に会社の一員として、役にたつて

日本磨帯鋼株式会社

代表取締役 杉本 幸久

環境方針

<環境理念>

私たちは、ますます深刻化する地球環境悪化を防ぐために、企業の活動(鋼材販売
活動)において、必要以上のエネルギーの消費をなくし、省エネ、節水活動、廃棄物
の少量化に取り組みます。又、地球環境にやさしい商品の取り扱いを増やすこと
によって環境負荷の低減を図り、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に
取り組みます。

<環境保全への行動指針>

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

- ① 二酸化炭素排出量の削減(低炭素社会への対応)
 - ・ 電力(工場、事務所)
 - ・ 自動車燃料(営業車)
- ② 廃棄物の削減及び再資源化の推進(循環型社会への対応)
 - ・ 一般廃棄物(可燃ごみ)
- ③ 排水量の削減(水資源の保全)
 - ・ 一般水道水
- ④ 磨帯鋼の環境用途の提案(製品・サービスへの環境配慮)
 - ・ 振動騒音防止材(隙間ゲージ)などへの利用
 - ・ 環境教育への利用
 - ・ ネット販売でのPR
- ⑤ エコ商品の購入(グリーン購入)

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します。

3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2008年10月1日

改定日：2012年5月11日

代表取締役

杉本幸久

□登録事業所の概要 (全社が認証取得範囲)

- (1) 事業所名及び代表者名
日本磨帯鋼株式会社
代表取締役 杉本幸久
- (2) 所在地
本社：大阪市東成区神路3丁目2番21号
資材倉庫：大阪市東成区神路4丁目10番22号
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者 高土京子 TEL：06-6971-5531

【磨帯鋼の環境性能】

磨帯鋼は産業機械、鉄道車両などの部品に加工され軽量化に貢献している。また、厚さの精度が良いことからスペーサーに利用され振動・騒音対策にも貢献している。

- (4) 事業内容 (認証・登録の範囲)
鋼板・帯鋼の加工販売
- (5) 事業の規模
製品出荷額 2.6億円
主要製品生産量 1200トン

	本社	資材倉庫
従業員	7名	無人
敷地面積	246 m ²	168 m ²

		作成者：杉本幸久	
		更新日：2018年4月1日	
日本磨帯鋼株式会社 環境経営システム組織図			
認証・登録の適用範囲 全社認証範囲 活動：鋼板・帯鋼の加工販売		代表取締役 杉本幸久	
		環境管理責任者 高土京子	
		環境事務局 高土京子	
		朝礼(毎日40分)	
経理・総務課 高土京子		工場チーム 大野将志(チーム長) 瀧河晃一 松田龍之将 井上尚輝	
		営業 杉本貴文	
		資材倉庫(無人)	

- (6) 事業年度 4月～3月

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2015年	2016年	2017年
二酸化炭素排出量 (対象：エネルギー総量)	kg-CO ₂	11,535	13,180	14,946
一般廃棄物排出量	t	0.65	0.62	0.57
総排水量	m ³	63	58	55

(注) 産業廃棄物は発生していない。

□環境目標及びその実績 (当初計画)

項目	年度	基準値 (基準年度)	2017		2018	2019
			(目標) 基準年度比	(実績) 基準年度比	(目標) 基準年度比	(目標) 基準年度比
電力の 二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	8,438 2016年度	8,354 99%	8,501 101%	8,270 98%	8,185 97%
自動車燃料の 二酸化炭素排出量削減	kg-CO ₂	4,007 2016年度	3,967 99%	5,988 149%	3,927 98%	3,887 97%
二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	12,446	12,321	14,489	12,197	12,072
一般廃棄物の削減	kg	648 2015	616 95%	567 88%	616 95%	616 95%
水道水の削減	m ³	63 2015	58 92%	55 87%	58 92%	58 92%
エコ製品の購入	%	活動目標	50%	40%	50%	50%
磨帯鋼の環境への貢献		活動目標	ホームページでのPR、帯鋼の用途の拡大			

- ・二酸化炭素削減目標には都市ガスは含まず
- ・電力のCO₂換算係数は0.514kg-CO₂/kWhを使用

□環境活動の取り組み計画と評価

4月～3月までの目標とその実績について、その評価を行った

取り組み計画	活動達成状況		次年度計画	評価（結果と今後の方向）
	評価	備考		
電力の削減	数値目標	未達成		
窓の遮光・断熱	○		継続	一年を通して電力の使用量は前年度並みであった。 夏場のクーラーの使用を出来るだけ適正温度に設定する事がポイント。 人がいない場所のクーラーや照明はできる限り切る事を徹底させる。 次年度は工場移転5年目となり消費量が安定した2017年度データを基準としてスタートする。
不要照明の消灯	○		継続	
3Sによる時間短縮	○		継続	
設備の空運転防止	○		継続	
工程ロス削減（伝達の徹底）	○		継続	
冷房28℃ 暖房20℃	×		継続	
書類作成ミス防止	○		継続	
自動車燃料の削減	数値目標	未達成		
アイドリングストップ	○		継続	車両が2台になり、営業活動も遠方が多くなりガソリン使用量が増えた。車両がフル2台になったので次年度は2017年度を基準として計画する。更に、効率的な営業活動をして、使用量をできるだけ減らすように心がける。
エコドライブ	○		継続	
冷暖房の控え目使用	○		継続	
営業ルートの効率化	△		継続	
一般廃棄物の削減	数値目標	達成		
裏紙使用	○		継続	3Sとエコアクション21を進めていくことで、ゴミは数年前に比べて、安定的に減らすことができるようになった。
ミスコピーの防止	○		継続	
大阪市の紙の分別規制に対応	○		継続	
帳票見直しによる印刷物の削減	○		継続	
両面印刷用プリンタ使用	○		継続	
マイ箸、マイカップ、マイ水筒運動の推進	○		継続	
産業廃棄物の削減				
法規制順守と管理の徹底				2017年度から木くずを産廃として処理開始したが年1回程度の排出で少量であるため削減目標としない。
水道水の削減	数値目標	達成		
節水呼びかけ	○		継続	水の使用は極めて少なくなっているの で、この使用水準を維持していきたい。
水の出っぱなしの禁止	○		継続	
エコ製品の購入		達成		
電気製品、自動車等環境の良いものを選択	○		継続	社内で使用する文房具や什器・備品はエコ製品が増えた。エコ製品の使用を継続。同時にムダ使用を排除するよう指示
文房具などの購入	○		継続	
磨帯鋼の環境への貢献				
社内検査の基準づくり	○		継続	磨帯鋼はエコな鉄鋼製品であることを意識して販売しているが、そのPRが今一つできていなかった。付加価値のあるエコな鉄鋼製品であることを周知してもらって販売数量を増やしていきたい。 安心して使ってもらえるように、いつでも環境対応書類を渡せるように準備をする。
梱包仕様の検討	○		継続	
顧客ニーズの把握	○		継続	
ホームページの改善（見直し）	○		継続	
ネット販売額調査	○		継続	
ホームページからの新規顧客数の集計	○		継続	

□環境関連法規制等の順守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物 産業廃棄物（木くず）
騒音・振動規制法	シャーリング機・コンプレッサー
消防法	スプリンクラー、警報機、消火器
顧客要求事項	素材の有害物質の含有禁止・納期厳守

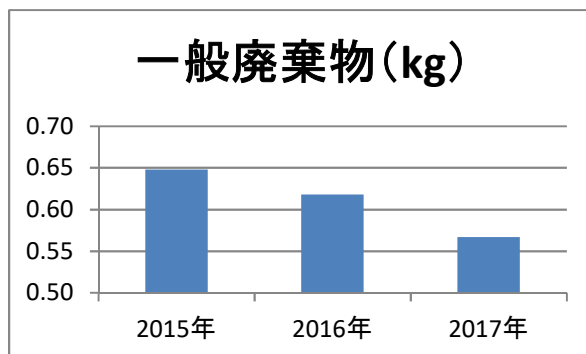
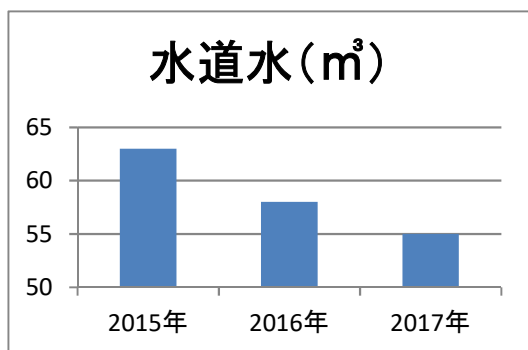
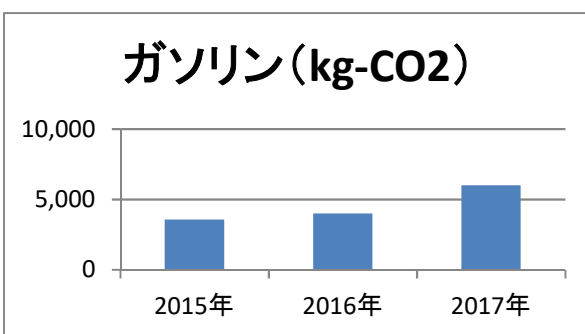
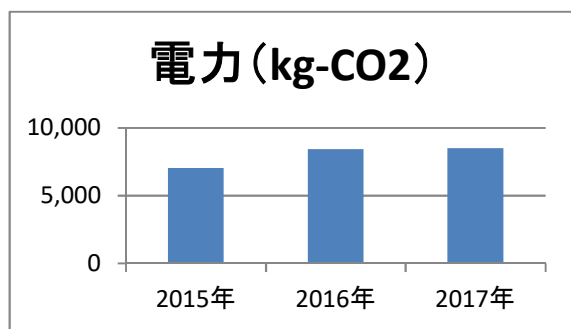
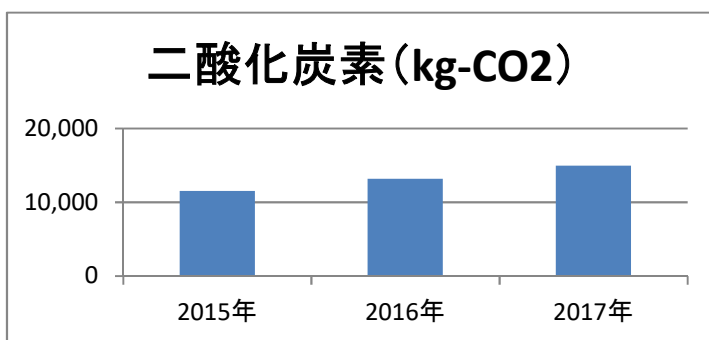
環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

代表者の見直し

2017年度は新工場での生産も軌道に乗り、機械・設備等を効率的に使えるようになった。3S活動の推進とエコアクション21の実践から環境経営に少し近づけた年でした。新工場に移転して4年が経過し、設備導入がほぼ完成したことから、環境負荷も安定してきました。次年度は今年度の安定した実績を元に活動を再スタートさせたいと思います。今後は、生産活動において、ムダを省いて効率的な「特殊な材料を供給する」という存在価値に基づいて、企業活動を実践していきます。

グラフで見るCO₂・廃棄物・水道水の削減(増加)状況



□エコへの取り組み



工場の照明に省エネ型を設



オートシャッターによる省エ



事務所の照明はLE



トイレの使用も省エネ



3Sの啓蒙活動



3Sでエコを



防震用クッションマ



防音